

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム岡崎若松の家

目標達成計画

作成日: 令和 3年 10月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	60	天気の良い日は、午前と午後に散歩に出掛けていますが、コロナ禍ということもあり、今年は戸外へ出るイベントも無く、利用者様が希望する外食や買い物にも出れない時期が続いた。	利用者様と職員全員がワクチンも接種し、緊急事態宣言も解除されたことから、世間の動向を見ながら、徐々に外出、外食の機会を増やしていきたい。	・買い物は頼まれたものを職員が買ってくるのではなく、利用者様が自分でお店に行き選べるように支援する。 ・紅葉狩りや正月の初詣、お花見等に皆で行けるように、外出できるイベントを企画する。。	6ヶ月
2	64	60番と同様に、新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部の方との接触を少なくするため、ご家族や友人との面会も控えて頂く等、寂しい思いをさせてしまった。	検温とマスクの着用、手指の消毒は継続しながら、ご家族やご友人との面会の機会、歌や踊りなどのボランティアの受け入れもすすめていき、楽しめる機会を増やしていく。	・面会を再開する旨、手紙を出す。 ・歌や踊りなどのボランティア団体の受け入れを再開する。 ・ヘアークットの定期的な来設を再開する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。